

第 50 回 広島県小児保健研究会 プログラム・抄録集

子どもは未来である



日時：2019 年 10 月 27 日（日）13：00～16：00

会場：広島大学霞キャンパス保健学科棟 203 室

第 50回広島県小児保健研究会プログラム

13 : 00 開会挨拶 広島県小児保健研究会 会長 祖父江 育子

13 : 05 基調講演 座長 もり小児科 院長 森 美喜夫

「子育てを楽しむ」

公益社団法人 日本小児保健協会 会長 秋山 千枝子

14 : 25 教育講演Ⅰ 座長 広島大学大学院医系科学研究科 小児歯科学研究室 教授 香西 克之

「“ # 8000 広島 ”から見えてきた子育て環境と小児医療体制」

広島県小児科医会 桑原 正彦

15 : 10 教育講演Ⅱ 座長 比治山大学短期大学部幼児教育科 教授 菊野 秀樹

「おもしろくて深い子どもの世界」

学校法人 有朋学園かえで幼稚園 理事長・園長 中丸 元良

15 : 55 閉会挨拶 広島県小児保健研究会 副会長 伊東 典代

会費 : 会員 (年会費 として 3,000 円) / 非会員 (当日参加費) 2,000 円 / 学生 500 円 (資料代含む)



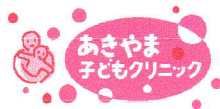
第50回広島県小児保健研究会

子育てを楽しむ

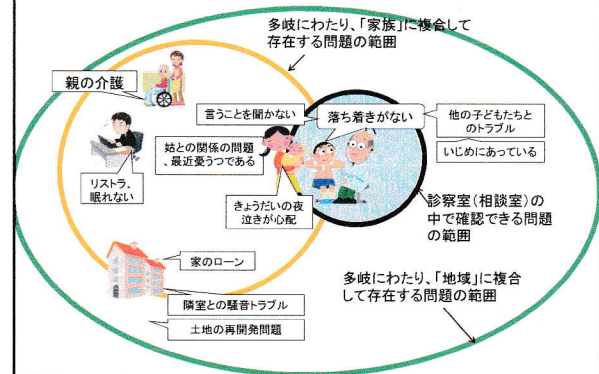
令和元年10月27日

公益社団法人日本小児保健協会

会長 秋山千枝子



子どもをとりまく状況



バイオサイコソーシャル(BPS) で考える (身体・心理・社会)

- ・ 子どものこと
- ・ 親のこと
- ・ 環境のこと

米国のBright Futures

生後から21歳までの小児とその家族に対し、
家庭・社会の環境調整
疾患の検出

疾病予防
健康増進
事前指導



Bright Futures.
prevention and health promotion for infants,
children, adolescents, and their families

これからの乳幼児健診

<https://brightfutures.aap.org/>

乳幼児健診を出発点とし、障害や疾病を
持っていても、一人一人の心身の健康をど
のように考え、健康を維持し増進させていく
かの視点を持ちつつ、子どもの将来の予測
をし、その計画的な子育てを示す

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 子育て世代包括支援センター

<佐藤 拓代 氏「母子保健からみた虐待予防」
より>

親子の問題を指摘するのではなく、寄り添っ
て支援し、さらに事業を利用しにくい親子も利
用しやすく、すべての親子が健康増進を目指し
健やかな子育てができることを目指す、新たな
時代に突入したといえます。

母子保健に関係のある法律

- | | |
|------------|---------------|
| ・ 児童福祉法 | ・ 少子化社会対策基本法 |
| ・ 母子保健法 | ・ 次世代育成支援対策法 |
| ・ 学校保健安全法 | ・ こども・子育て支援法 |
| ・ 地域保健法 | ・ 母体保護法 |
| ・ 健康増進法 | ・ 感染症予防法 |
| ・ 医療法 | ・ 予防接種法 |
| ・ 障害者総合支援法 | ・ 労働基準法 労働安全法 |
| ・ 精神保健福祉法 | ・ 育児・介護休業法 |
| ・ 発達障害者支援法 | ・ 男女雇用機会均等法 |
| ・ 児童虐待防止法 | |

成育基本法

議案名

成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し**必要な成育医療等を切れ目なく提供する**ための施策の**総合的な推進に関する法律**

衆議院議案受理月日：平成30年12月5日

衆議院審議結果：平成30年12月6日可決

参議院議案受理月日：平成30年12月6日

参議院議案審議結果：平成30年12月8日可決



産前に準備しておきたいこと

妊娠中の心がけ

受精卵は想像をはるかに超える勢いで細胞分裂をしながら赤ちゃんの体へと发育していきます。細胞分裂が活発に行われるには酸素が十分になければなりません。

喫煙の禁止

ニコチンは胎盤に血液の流れる量を少なくします。1日20本以上吸う妊婦さんの赤ちゃんは低出生体重児で生まれることがしばしばあります。

妊娠中の心がけ

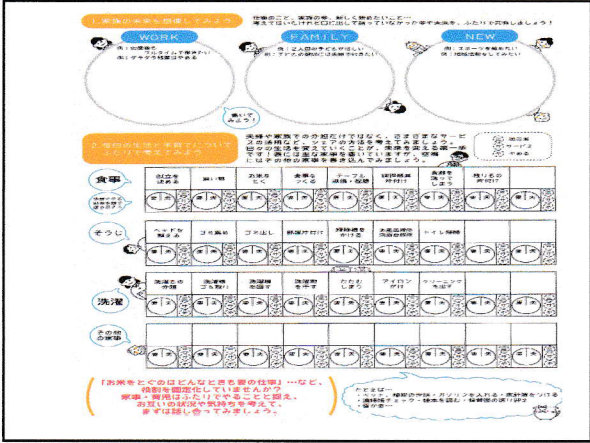
1、母体について

お母さんは病気やケガに注意をはらうと同時に、正しい栄養をとり、よい空気を吸うといった、日常生活での生理面を充実させます。

2、心・精神状態について

妊娠はつねに気持ちを安定させるように、自分から努めることも大切ですが、とくにご主人は、身ごもった妻をよりいっそういたわってあげます。





産後うつ病

産後1～2週から数カ月以内が好発時期です。症状自体は基本的にうつ病と同じで、一定期間(だいたい2週間以上)続きます。

マタニティーブルーズ

産後にイライラしたり、気持ちが落ち込んだりします。多くは産後3日から10日頃までに軽快します。

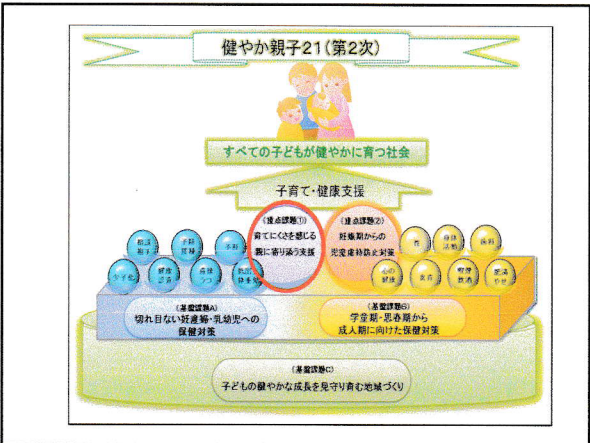
出産直後

胎児の胎盤への刺激によって胎盤から女性ホルモンがたくさん出ています。非妊娠時の千倍といわれていたホルモンが出産後にいっきに減ってしまいます。ホルモンの激減はかならず気分の激変につながります。この時期の女性の心理状態、精神状態はイライラしたり過敏になっています。

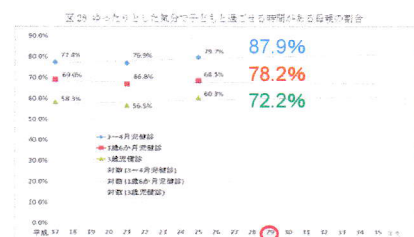
お父さんは、まず、そういう状態を理解する必要があります。やさしくいたわってください。

社会参加のために小児期に必要なこと

- ・ 家庭環境の安定
- ・ 家族の本人への状況理解
- ・ 精神的な安定
- ・ 成人期の社会参加を目指す教育
- ・ 本人自身の状況理解

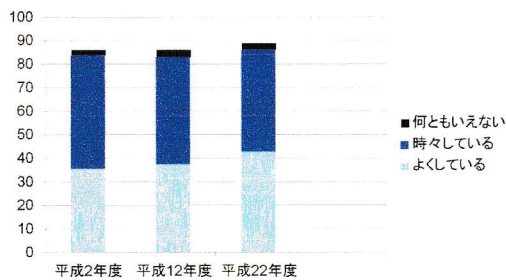


ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間
のある母親の割合



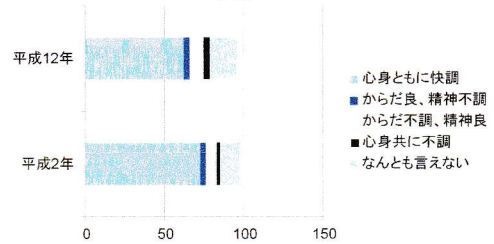
資料：
 正例 17 東京蟹が料理「蟹や・蝦子」を「蟹蓋」のたれで巻物。アタラシ製法は各種蟹料理に活用し得る点に留意。〔京都大新聞「正例」〕
 正例 18 東京蟹が料理「蟹や・蝦子」を「蟹蓋」のたれで巻物。アタラシ製法は各種蟹料理に活用し得る点に留意。〔京都大新聞「正例」〕
 正例 19 東京蟹が料理「蟹や・蝦子」を「蟹蓋」のたれで巻物。アタラシ製法は各種蟹料理に活用し得る点に留意。〔京都大新聞「正例」〕

お父さんは育児をしていますか



課題: 父親が参加する育児の内容について、子どもとの関わり方や父親自信の満足度等にも着目した、より充実したものであることが望まれる

幼児健康度調査(H2, H12年度) お父さんの気持ちやからだの調子はいかがですか



父親の心身ともに快調が減少し、心身ともに不調が倍増している



2019年6月13日
読売新聞

DV(ドメスティック・バイオレンス) 対応

配偶者暴力防止法:

- ・DVによるけがや疾病になったものを発見したものは配偶者暴力相談支援センターまたは警察に**通報する**よう努めること(努力規定)
- ・医師及び医療関係職は、本人の意思を尊重しつつ、**通報する**よう努めなければならない(できる規程)
- ・また、本人には相談先などについて**情報を提供する**よう努めなければならない(努力義務規定)

DV(ドメスティック・バイオレンス) 対応

相談先

福祉事務所
家庭児童相談員
女性相談センター
児童相談所
母子自立支援施設 等

愛情の伝達

子どもは両親の営みの中で育っています。母親だけが子どもを育てているわけではありません。父親が直接赤ちゃんのお世話をしなくても、たとえ不在がちな父親でも、母親をとおして父親の態度が子どもに伝わります。

父親が母親への理解・協力を怠ったり、精神的に苦しめたりすれば、間接的に子どもを苦しめることになるのです。

読売新聞

緊急避妊薬、必死に探す女性に朗報...医療機関検索サイト開設

9/11(水) 14:06配信

性犯罪や避妊の失敗などで望まない妊娠の可能性がある女性が緊急避妊薬を手に入れやすいよう、日本家族計画協会は今月、処方する医療機関を検索できるウェブサイトを開設した。日本で認められた薬は性行為から72時間以内に飲む必要があるため、速やかな入手をサポートする。

検索サイトには、緊急避妊薬を処方し、同協会の調査に応じた全国約1500医療機関が登録されている。都道府県ごとに検索でき、スマートフォンなどの位置情報を利用して、現在地から近い20か所が挙がる。休診の可能性があれば「！」マークが表示される。

緊急避妊薬(アフターピル)

- とにかく早く!
- 12時間以内に内服すれば99%以上の確率で避妊
- 72時間以内でも95%以上の確率で避妊ができる
- 120時間以内の内服でも98%の効果がある最新のアフターピルもある

妊娠中の準備

親: 出産後の家事の分担をしておく
 親: 地域の資源を調べておく
 親: 生活習慣の見直し
 親: 食事内容の確認
 環: まさかのときのDV相談場所

乳幼児期

乳児期の
親と子の絆をめぐって

しあわせな人を育てるために



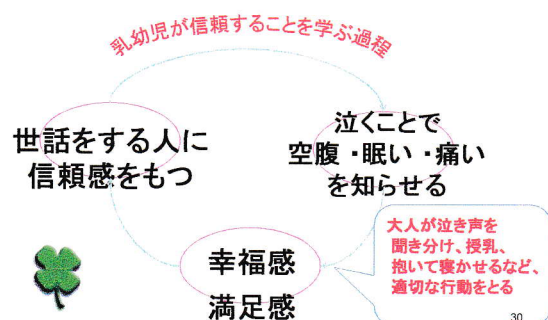
森井展子

子育て支援センター 広島市東区

The author is a member of the Japanese Association of Family Planning.

Copyright © 2019

広島県

母と子の信頼関係が良心を育てる

30

母と子の絆 ー愛着関係ー



- 1) 母と子の信頼の絆である。
- 2) 胎児期から始まり、愛されたことで自尊心が生まれ、信頼する親の価値感や良心を受け継ぐことができる。
- 3) たくさん抱かれ、愛された子どもは、いずれ安心して親元を離れ、独立できる。
- 4) 安定した愛着関係の中で育った子どもは、独立したあとで、困難に遭遇した際、自分を励ます「親の目」を感じ、自信を持って挑戦することができる。
- 5) 愛着関係は、子どもを一生幸せにできる「鍵」であり親が子どもに与えられる一番の贈り物である。

31

抱っこ

赤ちゃんが泣いているときやお母さんが抱きたいと思ったときには、どんどん抱いてもらってかまいません。抱き癖がつくという人がありますが、生後3か月までの赤ちゃんが抱いて泣き止むのは甘えではなく、生理的な欲求です。

新生児は雰囲気敏感で、目も見えます。赤ちゃんを抱っこするときは、つとめて 愉快的な気持ちになってください。

1か月頃に取り組んでほしいこと

子: 子どもへの接し方になれる(抱っこ、声や表情をまねる、やさしく触れ合う、外気浴)

親: 「今日はどうだった？」と夫婦お互いに報告しあおう

親: スマホでの連絡時間、スマホと向き合う時間をきめておく

3か月時に取り組んでほしいこと

子: 夜泣き、泣きやませ方

子: 声かけ、遊び(はっきりした色・形の絵本、一緒に声をだす、まねる、散歩、うつ伏せの姿勢)

親: きょうだいへの配慮

環: ミルク代、おむつ代の確認
社会資源の活用

赤ちゃん返りへの対応

- ① 赤ちゃん返りの意味を知ってもらう
- ② どのようなときに赤ちゃん返りが起こるか観察してもらう
- ③ 赤ちゃん返りを起こす場面の予測がつけば、その時の対応を決めて事前に回避してもらう
- ④ 予測が困難な場合には、「～したかったのかな」と子どもの気持ちを代弁してあげることが有効だと伝える。

困った行動への対応

いつも上の子どものことを考えていることを、行動と言動の両方で伝える。

「お兄ちゃんがおやつを食べたら、〇ちゃんにミルクをあげます。その後にお兄ちゃんに絵本を読むね」

待っていてくれたことをほめる。

大人しくしているときは声をかけられず、困った行動をしたときに声をかけられるとしたら、声をかけてもらいたくて、困った行動を繰り返すようになる。

4か月に取り組んでほしいこと

子: 離乳食の知識をもち、準備する
 子: 遊びのバリエーション(絵本、身近な興味のあるおもちゃを使って遊ぶ、色々な姿勢、笑顔のやり取り)

環: 社会資源の活用(地域とつながっていく)

6か月時に取り組んでほしいこと

子: 泣きやませ方、遊びのバリエーション(触れ合い遊び、スキンシップなど)
 子: 離乳食の話(パパがおいしそうに食べる)

親: 環境設定(パパが主体)、育児の確認(パパがママに教わる)

環: ミルク代、おむつ代の確認

9か月頃に取り組んでほしいこと

子: 離乳食の手づかみ食べ
 子: ことばでのやり取り

親: 夫婦の役割確認(お願い事)

環: 家庭内の事故、
 環: 安全対策の実践確認(誤飲、転倒、お風呂場)

1歳頃に取り組んでほしいこと

子: かんしゃくへの対応、しつけ、
 ハイタッチでほめる

親: 夫婦の善悪の対応

環: 道路の歩き方(手をつないで歩く)
 環: 乗り物の利用

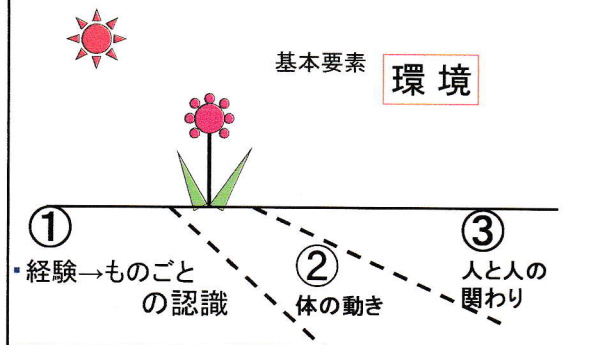
パニック、かんしゃくへの対応 (パニックを起こしている最中)

- ・なだめないほうがいい
- ・叱ったりしない
- ・場所を他へ移す
- ・移動しているときに叱らない
- ・パニックが収まるのを待って、穏やかに声かけする
- ・いけないことの要求は通さない

ことば(子ども)を育てる

1. 基本要素
2. 3つの要素

子どもを育てる3つの要素



生活リズムの重要性

・社会人の準備

乳児期	起床	朝食	遊び	午前寝	昼食	午後寝	遊び	夕食	入浴	遊び	就寝
幼児期	起床	朝食	身辺自立	遊び	昼食	午後寝	遊び	夕食	入浴	遊び	就寝
児童	起床	朝食	登校準備	勉強	昼食	勉強	遊び	夕食	入浴	勉強	就寝
生徒	起床	朝食	登校準備	勉強	昼食	勉強	部活	夕食	入浴	勉強	就寝
社会人	起床	朝食	出勤準備	仕事	昼食	仕事		夕食	入浴	趣味	就寝

家庭で子どもの様子に気づくために

- 会話
- 生活リズムの変化
 - ・食事（量 時間）
 - ・睡眠時間（入眠時間 睡眠時間 覚醒の様子）
 - ・帰宅時間
 - ・余暇の使い方

**気づくために規則正しい生活を
親子の信頼関係を形成**

着替え

- 1、全面介助・・・体に触って声をかけスキンシップ着替えを受け入れる
- 2、着替えに協力する動作の出現
- 3、靴下など足にはくものと認識する
- 4、自分でやろうとする
- 5、着替えをする場所・時がわかる
- 6、用意してある服を自分でとる、脱いだものを入れる
- 7、服を選ぶ(2つから)
- 8、靴下・上着などの服を組み合わせる
- 9、引き出しから自分で選ぶ

1歳6か月頃に取り組んでほしいこと

- 子: 家族の生活リズム、子どもの見通しを持たせた行動（親が予告をする）、身辺自立（お着替えの仕方、トイレトレーニングのやり方）
- 子: 遊びのバリエーション（見立て遊び）
- 子: イヤイヤ期の対応
- 子: ことばのシャワー（親が自分の一日を話す）
- 親: 家族の役割分担、子どもに簡単なお手伝い

ほめ方

頭をなでたり、肩に触ったり、うまくいったときにハイタッチをするなどのスキンシップが効果があるときもあります。

ほめ方

言葉では、

- ①「さすが」「すばらしい」「すごいね」を独り言のようにつぶやく
- ②さりげなく「役に立った」「助かった」「ありがとう」という。
- ③「ちょっと〇〇はおしかったかな」と最後に付け加える。

叱り方

①子どもの命に危険があるとき

「こら！」「だめ！」「めっ！」と大きな声で言います。この方法は1度だけ使用することで効果があります。毎回使用すれば慣れてしまうため、継続して使用してはいけません。このときも叩く必要はありません。もし、この方法を継続してしまうと、だんだんと声も大きくなり親御さんも感情的になっていく危険性があります。

叱り方

②子どもに責任をとらせる叱り方

お子さんが散らかして遊んでいるとき、「そんなに散らかして！お片付けしなさい。」

(ママと一緒にお片付けしましょう)

(ママがお片付けするまでそこに立ってみていなさい)」と言う。

叱り方

③継続的に使う叱り方

1回目「やめなさい」

2回目「さっきもやめなさいって言ったでしょ」

3回目「ちょっとおいで。」あるいは、ママがお子さんのそばに行き、両手をお子さんの腕におき、静かに「ママはやめなさいって言いました」とお子さんの目をみて言い、その場を去ります。それだけで効果があり、この方法は何度も使用できます。

子どもを健やかに育むために
～愛の戦い～

子どもは、大人と同じように、感情を持って生きています。感情は、子どもにとって、生きていくための大切な力です。子どもは、大人と同じように、感情を持って生きています。感情は、子どもにとって、生きていくための大切な力です。

子どもは、大人と同じように、感情を持って生きています。感情は、子どもにとって、生きていくための大切な力です。子どもは、大人と同じように、感情を持って生きています。感情は、子どもにとって、生きていくための大切な力です。

3歳頃に取り組んでほしいこと

子: 子どもの毎日のお手伝い

環: 経済状況(集団生活に入れているかどうか)

環: 食生活の確認

自己肯定感を育てる

- 自信を失わないように育てる(失敗させない)
- 「いまだできないこと」に怒らない
きつといつかできるようになる
- ほめる技術と実績が子どもを育てる

6歳頃に取り組んでほしいこと

子:就学準備(生活リズム、絵本から児童書に移行していく準備)

親:家庭の環境整備(子ども部屋はまだ、ルール)

環:人間関係の広がり(属性の異なる集団、地域での活動)

絵本から本へ

文字や色を覚えるといった、「目に見える力」を育成するよりも、子どもの想像力・集中力といった「目に見えない力」を育成する方が難しく、絵本は目と耳と心に作用する有効かつ最適なコミュニケーションツールである

中学生で必要なこと———どれかひとつ！

学習 部活 友人

社会人になると必要なこと——態度はすぐには無理！

知識 技術 態度

社会でつまずくとき——支える人を！

就職 結婚 昇進

愛されていることを実感させること

「いいこって どんなこ？」

ジーン・モデシット 文
ロビン・スポワート 絵
もき かずこ 訳



Memo*****



教育講演 I

“#8000 広島”から見えてきた子育て環境と

小児医療体制

広島県小児科医会

桑原 正彦



「 “#8000 広島”から見えてきた子育て環境と小児医療体制 」

広島県小児科医会 桑原正彦

2000 年に入る日本の社会は、介護保険制度の創設もあって、高齢者対策に明け暮れていた。その反動は、少子化対策、特に小児保健・医療対策の遅れとなった。

1900 年代後半から小児科医の不足と地域偏在が保護者の不満となって社会問題化してきた。一方、小児医療の提供側は、特に、病院小児科医を中心として、必死になって国民の不満を解消するための努力を続けていたが、夜間も診療して、次の朝から通常の勤務をする小児医療関係者の疲弊は著しく、遂に小児科医の自殺まで起きてしまった。この問題は、広島のみではなく全国的に、小児医療体制の見直しの声となって大きくなってきた。

2002 年、日本医師会は、「小児救急医療検討プロジェクト委員会」を立ち上げて、この問題の解決に向けての検討を行った。2003 年 3 月に出された報告書には、“医療機関に受診前に電話相談もありうる”、さらに電話相談の前に家庭で対応できることはないか（家庭看護力）」の 2 点が強調された。

2003（平成 15）年、本報告書を広島で試行することとなった。広島の小児科医約 60 名の献身的活躍で、広島県地域保健対策協議会（県地对協）も協力して、厚労科研・子ども問題研究班（鴨下班）に入って試行事業を行なった。

2004（平成 16）年 8 月、厚労省は、小児救急電話相談事業として、全国自治体に呼びかけた。電話番号は“#8000”、当時の補助金は 2 分の 1 であった。2010（平成 22）年に沖縄県が実施して、日本中が #8000 を利用できることとなった。2014 年から国の補助率は 3 分の 2 となって、さらなる #8000 事業の充実が図られた。

2017 年度から、厚労省の委託事業として、“#8000 情報解析事業”を開始。日本小児科医会に委託した。保護者の生の声を分析して地域の医療提供体制の組立てに役立てること、47 自治体ごとの分析をして、子育て環境の地域格差を解消することを目的としている。

ちなみに平成 28 年度の相談件数は、86 万件を超している。

これまでの電話相談の解析により、2 点が見えてきた。一つは、2 次医療圏ごとに見ると、医療提供体制に格差がある。夜間には、耳鼻科、眼科、脳外科などの専門科がない医療圏がある。中山間地域を持つ医療圏では、小児科医・産科医が少ないことである。2 つ目には、社会的要求から女性の労働力を必要としているが、一方では、一人親家庭などで相対的貧困が生じて、母親は働かなければならない状況がある。勿論、企業側の無理解や父親の

無理解で、明日の仕事が休めない母親、何らかの理由で病児保育所に愛児を預けられない母親が、今晩何とか解決しておきたいとの切実な願いから相談をする事例もある。

子供達の家庭の貧困は、子ども達が自由に彼らの才能を伸ばしてゆき、幸福な将来を期待するための障害となる。

2018年12月8日未明、子育てに関わる全ての人々が期待していた『成育基本法』案が、参議院本会議の議場において、全員一致で可決した。今後、国のレベルの協議会が開かれて、国の子育て指針が検討される。さらに、これを踏まえて、各自治体でも、協議会が結成されて、行政・医療・福祉・保育者・養育者など、それぞれの立場での責務が検討され、実行に移されることになる。

日本小児科医会の初代会長・内藤寿七郎は、私たちに下記の箴言を残された。

“ 子供を大切にしない国は滅びる ” と。



Memo*****



「おもしろくて深い子どもの世界」

学校法人有朋学園 かえで幼稚園 理事長・園長 中丸元良

1. 子どもの感性と表現

- ・ 知識、経験、語彙の少ない子ども
- ・ 子どもの感じ取る力、表現する力
- ・ 想像力と創造力の大切さ

2. 子どもは「かわいい」か？

- ・ 子ども自身の思い
- ・ 育ちの道筋
- ・ 遊びと環境の大切さ

3. 身近な大人の存在

- ・ 子どものよさを引き出す
- ・ 指示より支持、管理より信頼、評価より共感
- ・ 目に見えない価値を認める



おもしろくて深い
子どもの世界



2019.10.27 小児保健研究会
かえで幼稚園 中丸元良

Kaede Kindergarten



Profile かえで幼稚園

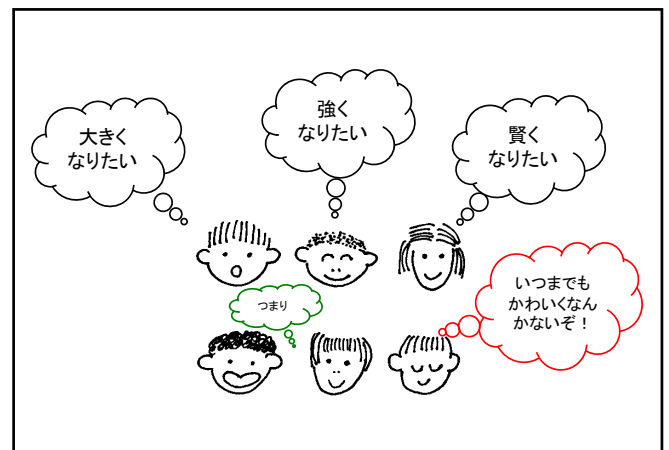
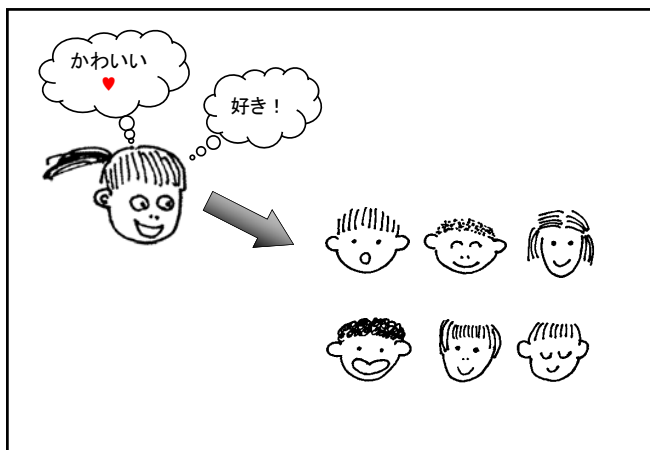
- ・1981年創立
- ・園児数: 約170名
- ・クラス数: 7 (3歳児3, 4歳児2, 5歳児2)

Profile 中丸元良 (なかまるもとよし)

- ・1953年9月12日 広島県生まれ
- ・かえで幼稚園園長、専属カメラマン 専属大工
- ・広島市内3大学の非常勤講師
- ・趣味: 写真、音楽、ものの修理



Kaede Kindergarten

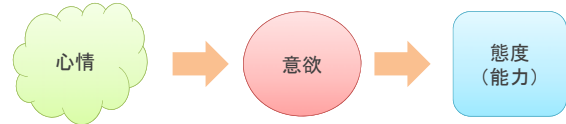


主体性＝自分で育つこと



子どもは自分で育つ力を持っている。
ただし、育つ道筋はある。

育つ道筋



心情

「おもしろそう!」「ふしぎだな?」「すごい!」など



意欲

「やってみたい!」「知りたい」「試してみよう」など



態度

がんばる、工夫する、調べる、協力する、
人の思いを知る、がまんする etc.

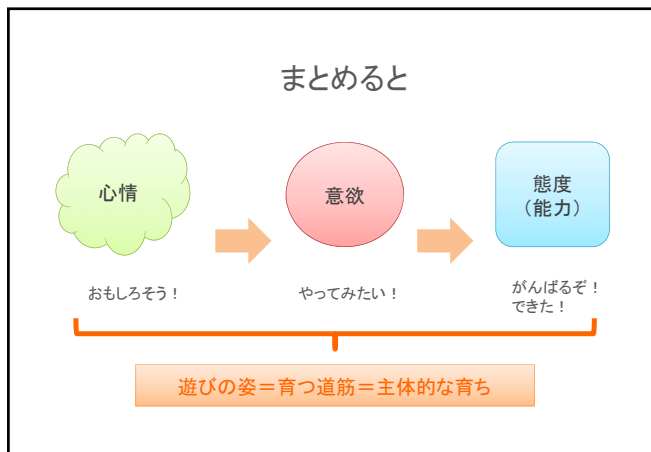


能力

できた、分かった、表現する、
学びに向かう力、人とのかかわる力 etc.



Kaede Kindergarten



夢中が大切

育ちの道筋の中にある子どもたちは、
ただ夢中なだけである。
幼児教育は「教える教育」ではなく、「無意識のうちに学び取る教育」

(だんごむし...)

.....

.....

遊びで育つと言うけれど...

遊びの要素

こんなことに
ぼくたちは
夢中!

1. ものを作る

2. 考える、工夫する

3. 挑む、試す



4. 競う



5. 想像する、空想する



6. 共感する、協働する



まとめると

1. ものを作る
2. 考える、工夫する
3. 挑む、試す
4. 競う
5. 想像する、空想する
6. 共感する、協働する



人間らしさ

あそんでぼくらは人間になる

Koide Kindergarten

シーン3
コマに夢中!

なんてたって
環境が
だいじでしょう



環境は3つの「間」



Kaede Kindergarten

空間 = 安心して自分を発揮できる多様で手ごたえのある
部屋、園庭、遊具、自然 etc.



時間 = 夢中になれる(思う存分遊び込める=心情、意欲、
態度の道筋ができる)ゆとり



人間 = とともに育つ仲間、育ちに寄り添う保育者



環境作りのキーワード

- ① 安心感
- ② 多様性
- ③ 手ごたえ

Kaede Kindergarten



身近な大人の存在

保育者のかかわり(援助)を分けてみると...

1. 指導、指示、禁止…「こうしなさい」「やめなさい」
2. 手助け、お世話…力を貸す、やってあげる
3. 提案、モデル提示、紹介…「こうしてみたら?」「こんなやり方もあるよ」
4. 確認、共感…分かってあげる、同じ気持ちになる、寄り添う、子どもが感じ取っていることを言語化する
5. 注目、傾聴…『先生見て』『先生あのね』…見ていてあげる、聞いてあげる
6. 問いかけ…「どうしたらいいと思う?」など、子どもの中にあるものを引き出す
7. 見まもり…何もしないで経過を見る、見なかったことにする

環境設定…予想、ねらいに基づいた準備、提案



指示よりも支持
管理よりも信頼
評価よりも共感

それが大事よね



保育者は「教えないこと」に全力を尽くしている





Memo*****

会員募集のご案内

広島県小児保健研究会は、小児保健に関する実践と研究を促進し、会員相互の研鑽、連絡および親睦を目的に活動しています。年2回研究会を開催するとともに、年2回ニュースレターを発行し、活動成果を会員と共有しています。

会員は、小児保健に携わっている専門職者（小児科医、歯科医、看護職者、リハビリテーション関連職者、保育士、幼稚園教諭、養護教諭、小・中学校教諭、心理士、行政関係者 等）で構成されています。

特に、小児領域では少子化対策、児童虐待の問題、発達障害児への支援など多くの難題を抱えています。小児に関わる多職種のエキスパートが意見を持ち寄り、情報を共有する本研究会に、ぜひとも皆様のご参加をお願いいたします。

本研究会にご賛同を賜り、ご入会を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

広島県小児保健研究会 会長

祖父江 育子



広島県小児保健研究会入会届・連絡先変更届

申し込年月日： 年 月 日

	姓	名
ふりがな		
氏名		
連絡先	1. 勤務先	2. 自宅

ご所属		
ご所属住所	〒	
ご所属電話番号	TEL.	FAX.
E-mail		
ご自宅住所	〒	
ご自宅電話番号	TEL.	FAX.
E-mail		

職種
医師（小児科，_____） 歯科医師（小児歯科，他） 看護職（保健師，助産師，看護師，准看護師） 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 歯科衛生士 臨床心理士 養護教諭 保育士・幼稚園教諭 小・中・高等学校教諭 栄養士 その他（_____）

広島県小児保健研究会事務局

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学大学院医系科学研究科

TEL・FAX 082-257-5378 E-mail: pedns@hiroshima-u.ac.jp

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/pedns/reserve.html>

